

審議会委員から提案された指標

〔提案指標について〕

- ・網掛けは、新たに提案された指標
- ・★印は、計画案に記載した指標
- ・☆印は、内容の一部を変更して計画案に記載した指標
- ・上記以外は、計画案に記載済みの指標

施策１－１「確かな学力」の育成

【提案指標】

☆「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果（平均正答率）

- ・小学校（国語・算数）
- ・中学校（国語・数学・英語）

○学校の勉強はわかると答える児童生徒の割合

○家庭等学校での授業以外で平日に１時間以上学習する児童生徒の割合（低中学年は30分）

【意見】

施策の目的の中の「基礎的基本的な知識・技能を確実に習得」の部分については、全国学力・学習状況調査の結果が一番客観的である。また、施策の目的の中の「主体的に学びに向かう力を育成」については、「学校の勉強はわかる」と答える児童生徒の割合が、前向きな学習態度の指標となる。家庭学習の時間や読書時間は、確かな学力に大きく関わる項目なので、指標に挙げてもいいと思う。

施策１－２「豊かな心」の育成

【提案指標】

○自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合（小○％・中○％）

○難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している児童生徒の割合（小○％・中○％）

○人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合（小○％・中○％）

【意見】

上記の指標は、第２期ひょうご教育創造プランの検証指標。豊かな心の伸長を測る指標として分かりやすい。

施策１－３「健やかな体」の育成

【提案指標】

☆全国・兵庫県の基準値と比較した本市児童生徒の体力の達成率

○朝食を毎日食べる児童生徒の割合

【意見】

スポーツ庁が実施している調査や小・中学校で実施しているスポーツテストの集計等から体力や運動能力の具体的な指標を設定すると、姫路市の児童生徒の体力を捉えやすいのではないかと。朝食を食べているかどうかについては、全国学力・学習状況調査の質問紙等でデータを入手できる。

施策 1-4 異校種間連携の強化

【提案指標】

- 保幼小連携・小中連携・オープンハイスクール等、異校種間連携に係る取組を実施した小・中・高等学校の割合
- 授業力向上に向けて、小中一貫教育の視点を持ち、つながりのある指導を重視した授業改善が図れていると答える教職員の割合

【意見】

本施策の指標の設定は取組の幅が広く難しい。異校種間の連携行事を行っている割合及び教職員の実感を挙げることで連携の強化を数値化するしかないと思う。

施策 1-6 特別支援教育の推進

【提案指標】

- ☆交流及び共同学習を通じて、障害のある人への理解がより深まった児童生徒の割合
- 個別の指導計画の作成・活用、個別の支援計画の引き継ぎが行われている学校の割合

【意見】

特別支援教育に関しては、学びの環境整備等についての指標があれば状況を捉えやすいのではないかと。

施策 1-7 特色ある教育の推進

【提案指標】

- 児童生徒や地域の実態に応じた独自のカリキュラム・マネジメントを実施している学校の割合
- ★将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合

【意見】

特色ある教育活動は地域の特徴（土地、人、企業、歴史、文化）によって取組が様々なのでカリキュラム・マネジメントを指標にしてはどうか。キャリア教育は自立に向けた教育活動の中核となるものなので指標に挙げてはどうか。

施策 1-8 生徒指導の推進

【提案指標】

- 学校には、何でも相談できる先生がいると答える児童生徒の割合
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと答える児童生徒の割合

施策 1-9 教職員の指導力向上の推進

【提案指標】

- 教育研究支援事業（スペシャリスト派遣事業、教育研究実践助成等）が、校内外研修に効果があったと答えた学校の割合
- 資質・能力の向上に対する研修企画の有効度（4段階評価の平均値）